



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640

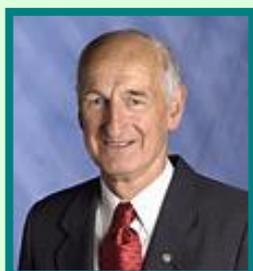
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2006.8.1

NO.2

2006～2007年度

「率先しよう」



RI 会長 ウィリアム B. ボイド



ガバナー 三軒久義

目次

1. ガバナーメッセージ	1
2. 会員動向の現況について	2～3
3. これからの会員増強	3
4. ロータリー100年の森林」これまでと、これから	4
5. クラブ役員のための情報資料と日本事務局のご案内	7
6. 識字率向上へのご理解とご支援のお願い	10
7. ハイライトよねやま	11
8. 文庫通信	12
9. 年間行事予定 8月行事予定表	13

8月は会員増強および拡大月間



国際ロータリー第2640地区ガバナー 三軒久義
ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/sangen/

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区

ガバナー 三軒 久義



当地区ロータリアンの皆様、特にクラブ会長、幹事の皆様、新しいロータリー年度が始まり、良き意味での緊張感を持ってクラブ例会に出席されたことと存じます。何年経っても新年度の7月の初例会は心新たな、新鮮な感じがして良いものです。この1ヶ月の間に、2日の青少年交換オリエンテーション、9日の地区米山奨学金委員会、15日のクラブ会長会議、地区ロータリー財団委員会、地区世界社会奉仕委員会、16日のローターアクト・リーダーシップ・フォーラム、22日のクラブ会員増強委員長会議、29日のクラブ社会奉仕・環境保全委員長会議、30日のクラブ職業奉仕委員長会議、インターアクト年次大会と多くの会合が開かれ、いよいよ新しい年度がスタートしたことを実感されたと思います。皆様に今年度の計画を提出して頂いておりますので、それに沿って活動を始めて下さるようお願いいたします。

さて、今月は会員増強月間です。亀岡パストガバナーに会員数の現況について執筆して頂いていますが、当地区の会員は減少の一途を辿っています。会員数が多ければよくて、少なければ悪いかと言うと、いちがいにはそうとは言えませんが、当地区のクラブ数76から考えますと、1クラブ40人くらいが必要で、当地区の会員数は3000名欲しいところです。2006年7月1日で約2586名の会員数ですので、今年度450名、1クラブ6名の増強が必要となります。会長、幹事さんと、会員増強委員長さんが、やる気を出して率先してくだされば不可能ではないと思います。特に会員数20人以下のクラブには、まず20名を目指して努力して頂きたいをお願いします。会員数が少ないと経済的な面で、クラブの運営も苦しく、ニコニコ・ボックスなどによる寄付金で行う奉仕活動も困難です。

会員増強でいつも問題になるのは、新会員の質と量です。しかし初めからロータリアンに相応しい方を探すのは難しいでしょう。社会的に立派な人が、必ずしも立派なロータリアンになるとは限りません。やはりオーソドックスに、先ず職業分類の未充填のところの職業で、ロータリーの綱領に賛同くださり、例会に出席できる方を新入会として迎え、十分な情報を提供し仲間を増やすことが最も近道だと思います。会長様、幹事様、会員増強委員長様、ご健闘をお祈り申し上げます。

—会員動向の現況について—



RI 会員組織地域コーディネーター

亀岡 弘 (第 2640 地区 PDG)

率先して声を掛けましょう！



ウィリアム・B ボイド RI 会長は、“率先しよう”というテーマの下、純増各クラブ 1 名またはそれ以上を提唱しています。

先ず世界の現状を眺めてみますと、2005 年 7 月 1 日 1,192,286 人、2006 年 5 月 31 日 1,221,812 人であり、+29,526 人(+2.48%) となり増加しています。しかし 2005 年 6 月 30 日は 1,224,297 人ですから今年 5 月 31 日までは -2,485 人となり増えていないこととなります。

日本 1~4 (A) ゾーンでは昨年 7 月 1 日 100,159 人、本年 5 月 31 日 101,980 人であり、+1,821 人(+1.82%) となり、2004~05 年度の同期 (+977 人) に比較して約 2 倍の純増となります。しかし 2005 年 6 月 30 日から 7 月 1 日のたった 1 日で -554 人ありましたので、前年度末から 5 月 31 日までの正味の純増は、1,267 人となります。

私たち 2640 地区では昨年 7 月 1 日 2,655 人、本年 6 月 30 日 2,586 人で、-69 人 (-2.60%) となります。当地区は昨年 6 月 30 日も 7 月 1 日も同数ですから、正味の減少は 69 人となります。昨年度の減少は、111 人であったことを考慮しますと改善されてきたことは事実であります。

3 ゾーン全体 6 月末のデータはまだ出ていませんが、5 月末では +472 人であり、2650 地区では 162 人の純増となっています。これらのデータから 2005 年 7 月 1 日から 2006 年 5 月末までの 11 ヶ月でかなりの純増が認められますが、ここ数年間の失地を挽回するにはまだまだほど遠い感じがします。

しかし前年度に比較して下げ止まったように思われ、ここ数年間では最も良い結果が期待されます。

次に 2005 年~06 年度脱会・新クラブを掲げておきます。

脱会クラブ：野沢温泉 (地区 2600, 会員数 2)、一関磐井 (2520、10)、上北 (2830, 7)、印旛中央 (2790, 4)、舟橋北 2790、4)、生月 (2740、16)。新クラブ：函館セントラル (2510, 28)、熊本 05 福祉 (2720, 24)、相模原柴胡 (2780, 23)、福井水仙 (2650, 39)、京都さくら (2650, 31)、美馬 (2670, 20)。

ところで、会員基盤強化のために、“ロータリーの原点と基本理念”すなわち①広く知り合いを求めて奉仕の機会を多く持つ、②自らの職業に誇りを持ち、その道徳的水準を高める、③公私の別なく奉仕の理想を実行する、④理解と友情を国際的にも広める。いわゆる奉仕の哲学を普及増進することにあります。そのためにはロータリーの原点に回帰し、人を助けるという「心」、奉仕したいという「意志」と「願望」、ロータリー精神を「他人と分かち合う」、「会員があつてのクラブ、クラブがあつてのロータリー」をロータリアン

一人一人が認識し行動することです。
 あなたは誰に声を掛けられて入会しましたか。
 声を掛けられなければ入会していないはずです。今度はあなたが声を掛ける番です。

率先して声を掛けましょう！

「これからの会員増強」

地区会員増強(退会防止)委員長

倉 橋 祐

2006～07 年度の地区の活動計画の中で、基本姿勢として「退会防止」を最重要課題としました。会員あってこそそのロータリークラブですから増強は継続的に永遠の基本テーマです。特に会員暦の長い方々のご自分の所属しているクラブの伝統と歴史を絶やすことなく、後に続くロータリアンを率先して増強し立派に育て上げる一層の責務があるかと考えます。



21世紀に入り会員数は地区もそして世界的にも減少を辿っています。この間も会員増強を声を大にして叫び、各クラブもそれに呼応して必死に努力されては来ましたが止む得ない社会現象等が原因であったのだろうと思われます。今年度は基本姿勢の観点から新会員の教育に全力を注いでいただきたい。それには、増強委員会単独では達成不可能です。8月の「会員増強月間」を通じて、会長を中心に親睦を培いながら、情報委員会、プログラム委員会、広報委員会がリンクして会員教育を徹底していただきたい。

ロータリー活動の素晴らしさを表現することで内外共に認知されることに繋がり、会員増強の引き金になると信じます。

新会員(入会3年もしくは5年以内)教育は集中してクラブフォーラムを行うことにはじまり、ロータリーに失望感を味わうことの無いよう、感動と達成感を憶える奉仕活動を実施されれば減少を防ぎ、更に「ロータリークラブに入ってよかった」「例会に出席するのが楽しみだ」と思っただけであれば会員増強への原動力となる筈です。

「ロータリー100年の森林」これまでと、これから

地区環境保全委員長 亀岡 弘昭



「ロータリー100年の森林」は、国際ロータリー創立百周年社会奉仕プロジェクトとして、2003～04年度に着手した環境保全事業です。

2003～04年度に「森林づくり」の基盤事項の査定の結果、場所は高野町の内子谷という有田川の源流部の国有人工林伐採跡地、31haを借り受け、和歌山県庁内（財）緑化推進会との協働事業ということになりました。

森林（もり）の植樹の樹種は、保水力と水資源・季節毎に私たちの心を癒してくれる森林の回復などの観点から、すべて落葉広葉樹とし、イロハモミジ、クリ、ケヤキ、コナラ、ヤマザクラが選ばれました。醸出金は1口1万円と決め、第2640地区全クラブに協力を呼びかけました。2003～04年度には、1,000万円が寄せられ、イロハモミジ・300本、クリ・150本、ケヤキ・100本、コナラ・150本、ヤマザクラ・300本 計1000本、2004～05年度には締め切り日までに一千百万円が寄せられ、イロハモミジ・150本、クリ・350本、ケヤキ・100本、コナラ・150本、ヤマザクラ・350本 計1100本、2005～06年度には274万円が醸出され、前年度締め切り日後に、いただいた50万円をプラスした324万円、エドヒガシ・50本、クリ・74本、コナラ・100本、トチノキ・50本、ヤマボウシ・50本、計324本を植樹し、合計2424本を植えたこととなります。

これで、「ロータリー100年の森林」の植樹事業を完了したことを、ご報告します。

この間、（財）緑化推進会のみなさんには、記念植樹行事における初準備、植樹、下草刈りの手配、苗木の手配など、ご苦労様でした。

これから、（財）緑化推進会の主管のもと、これまで植樹してきた年度以後の十年間、地元の森林組合に委託され、造林事業が本格化します。ロータリアンの皆さんも、これからの事業に、お心くばりをいただき、下草刈りなどで汗を流していただくこともよいことでは。

なお、高野山の桜の満開の頃、親睦とロータリー100年の森林の成長ぶりをみるため、「ロータリー100年の森林の日」の制定を願っています。

和訳すれば「環境は人の心の、ありようによって変わり、心が汚れていると環境は悪くなる。心は環境によって変化し、環境が良ければ、人の心は清らかになる。」と弘法大師（空海）の漢文・漢詩を、弟子の真済が編纂した遍照發揮性靈集にあります。

これは、約1200年前の、環境保全の大切さについての遺訓です。

ロータリー100年の森林 募金総計

06.6.15 現在

クラブ名	口数	金額	クラブ名	口数	金額
有田	13	130,000	大阪狭山	0	0
有田南	12.6	149,000	りんくう泉佐野	15	150,000
有田2000	1	10,000	堺	44	440,000
藤井寺	16	70,000	堺東	40	400,000
藤井寺しゅら	21	210,000	堺北西	0	0
御坊	65	650,000	堺泉ヶ丘	22	220,000
御坊東	2	20,000	堺北	8	80,000
御坊南	10	100,000	堺南	46	460,000
羽曳野	26.8	268,000	堺中	4	40,000
羽衣	20	200,000	堺南西	0	0
阪南	10	100,000	堺西	29	290,000
橋本	43	430,000	堺おおいずみ	2	20,000
橋本紀ノ川	16	160,000	堺フェニックス	38	380,000
岩出	26	260,000	堺清陵	29	290,000
和泉	13.7	137,000	堺泉北	6	60,000
和泉南	0	0	堺東南	0	0
泉大津	15	150,000	泉南	12	120,000
泉佐野	5	50,000	新宮	1	10,000
海南	12	120,000	白浜	13	130,000
海南東	64	640,000	忠岡	7	70,000
海南西	0	0	太子	2	20,000
貝塚	2.4	24,000	高石	10	100,000
貝塚コスモス	14	140,000	高師浜	13	130,000
関西国際空港	0	0	田辺	85	850,000
河内長野	6	60,000	田辺はまゆう	17	170,000
河内長野東	3	30,000	田辺東	20	200,000
岸和田	53	530,000	富田林	15	150,000

クラブ名	口数	金額	クラブ名	口数	金額
岸和田東	35	350,000	富田林南	25	250,000
岸和田北	13	130,000	打田	15	150,000
岸和田南	9	90,000	和歌山	96	960,000
粉河	28	280,000	和歌山アゼリア	103	1,030,000
高野山	33	330,000	和歌山東	373	3,730,000
串本	0	0	和歌山城南	54	540,000
松原	23	230,000	和歌山北	81	810,000
松原中	0	0	和歌山南	154	1,540,000
美原	30	300,000	和歌山中	59	590,000
那智勝浦	3	30,000	和歌山西	30	300,000
大阪金剛	33	330,000	和歌山東南	74	740,000
			合計	2219.5	22,128,000

ガバナー事務所	200	2,000,000
---------	-----	-----------

堺プロバスクラブ	10	100,000
----------	----	---------

祝儀計	20,000
-----	--------

受取利子(03.9.24)	1
受取利子(04.3.21)	18
合計	19

総額	24,248,019
----	------------





クラブ会長と幹事の皆さまへ クラブ役員のための情報資料

クラブ・地区担当職員（日本事務局奉仕室職員）は、クラブを広く支援するために、情報、手段、コミュニケーション資源を提供し、RI本部事務局との連絡担当者としての役割を務めます。

ロータリーに関するご質問にお答えし、クラブ選挙、定款規定、クラブ運営、RI理事会の方針といった内容について助言いたします。

クラブの管理・運営に役立つウェブ資料をご覧になったことがありますか。

- クラブ会長と幹事のための参考資料が、下記ウェブサイトに掲載されています。

http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/club_pres_sec_resources_japdf

- ・「会員アクセスページ」を利用して、クラブの会員記録を変更したり、ロータリー財団の各種報告書を閲覧したり、クラブの人頭分担金をオンラインで支払い、次期クラブ役員を報告したりする方法をご存知ですか。 詳細な説明と役立つヒントは、下記のウェブサイトをご参照下さい。

<https://riweb.rotaryintl.org/ja/faq.asp>

- 視聴覚資料、クラブ用ソフトウェア、書式、用紙類を含めたクラブ管理運営のための重要な出版物はすべて、ウェブの<http://shop.rotary.org/>（英語）から探すことができます。

- 「クラブ会長のための月間照合表」は、クラブ会長とクラブ会長エレクトのために作成された資料であり、RIとロータリー財団プログラムの重要な期日を含め、クラブや地区の運営に関する重要事項が月ごとに記載された年間予定表です。 下記のウェブサイトに掲載されています。

http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/pres_checklist_ja.pdf

- クラブ・リーダーシップ・プランは、クラブを活性化する新たな素晴らしい方法です。これは、効果的なロータリー・クラブのベストプラクティス（最善の実践方法）に基づいています。クラブ・リーダーシップ・プランを説明した資料が、下記ウェブサイトに掲載されています。

<http://www.rotary.org/languages/japanese/support/clubplan.html>

RI日本事務局職員は、今後皆さまのお手伝いをし、クラブの奉仕活動を支援させていただけることを楽しみにしております。RI事務局から援助が必要な場合は、当奉仕室あるいは下記担当部署までお気軽にご連絡ください。

国際ロータリー日本事務局

奉仕室長 大木 光男

〒115-0045

東京都北区赤羽 2-51-3、NS3ビル1階

奉仕室： 電話 03-3903-3161 経理室： 電話 03-3903-3183

財団室： 電話 03-3903-3192 資料室： 電話 03-3903-3194

ファックス番号は各室共通： 03-3903-3781



国際ロータリー日本事務局

郵便宛先： 〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3 NS3 ビル 1 階	業務時間 月—金 9:00—17:00
---	-------------------------------

事務局長	大島 四郎
-------------	-------

奉仕室 電話：03-3903-3161 ファクシミリ：03-3903-3781

室長：	大木 光男	Mitsuo.Oki@rotary.org
	臼杵 大輔	Daisuke.Usuki@rotary.org
	長野 衣里	Eri.Nagano@rotary.org

- 新クラブの加盟（ロータリー・クラブ、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊）
- クラブの名称・所在地域の変更の申請
- 会員アクセスページに関する問い合わせ
- クラブ創立記念の認証（例、50周年、75周年）
- ロータリー奉仕50周年を達成したロータリアンの表彰状（要請により作成）
- 手続きおよび定款規定についての地区ガバナー、クラブおよびロータリアンに対する助言
- 世界本部との連絡にあたり地区ガバナー、クラブおよびロータリアンを支援
- クラブの最近の記録および史料記録を維持

財団室 電話：03-3903-3192 ファクシミリ：03-3903-3781

室長：	片岡 暎子	Teruko.Kataoka@rotary.org
	清水 優季	Yuki.Shimizu@rotary.org
	山本 律子	Ritsuko.Yamamoto@rotary.org

- 寄付の認証
- 各種申請書（奨学金、マッチング・グラント、個人向け補助金など）の受理
- 税制上の優遇措置の手続
- 地区補助金の申込、最終報告の受理
- 財団プログラムの説明
- 財団資料（セミナー・ハンドブック）の作成

経理室 電話：03-3903-3183 ファクシミリ：03-3903-3781

室長：	斎藤 愛子	Aiko.Saito@rotary.org
	花村 俊樹	Toshiki.Hanamura@rotary.org
	藤野 公三子	Kumiko.Fujino@rotary.org

- 国際ロータリーに対する人頭分担金の徴収とその他の支払い
- クラブおよび地区からの次の事項に関する問い合わせについての回答
半期報告書
クラブ送金および未払い金
加盟終結処分の後で支払いが行われたことによる復帰
- ロータリー財団寄付の領収書の発行

資料室 電話：03-3903-3194 ファクシミリ：03-3903-3781

コーディネーター	森 智洋	Tomohiro.Mori@rotary.org
	縄田 怜	Satoru.Nawata@rotary.org

- 国際ロータリーの文献、ビデオのご注文ならびに問い合わせ

クラブ役員のための情報資料と日本事務局のご案内

地区ガバナー各位

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、毎年7月には各クラブの会長・幹事へクラブ役員のための情報資料と日本事務局のご案内をお送りしていましたが、本年度よりRI本部の指示によりガバナー月信の紙面をお借りしてクラブ会長・幹事へご配信頂くことになりました。

これは、クラブ会長・幹事に役立つ資料をご案内し、併せて当日本事務局をご活用頂くためであります。

ついては、添付のクラブ役員のための情報資料と日本事務局連絡先情報を近刊の月信に掲載頂きますようお願い申し上げます。

クラブ役員のための情報資料は、月信に印刷するものとして次のファイルを用意いたしました。

<クラブ役員のための情報資料 印刷版 06-07.doc>

また、月信を地区のウェブサイトに掲載される場合には、以下のファイルをご使用下さい。

<クラブ役員のための情報資料 ウェブ版 06-07.doc>

なお、日本事務局連絡先情報は兼用とさせていただきます。

<RI 日本事務局連絡先情報 06-07.doc>

何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

敬具

RI 日本事務局

奉仕室 大木 光男

E-mail: Mitsuo.Oki@rotary.org

Tel: 03-3903-3161

Fax: 03-3903-3781



識字率向上へのご理解とご支援のお願い

RI 識字向上タスクホース

エリアコーディネーター 藤川 享胤

ゾーンコーディネーター 中村 幸吉

RI は、非識字こそ貧困をはじめとする諸悪の根源であると考え、1997 年の RI 理事会で 7 月（現在は 3 月）を識字率向上月間に指定しました。その後、識字問題は 2005 年までの RI 強調事項となり、ビチャイ・ラタクル RI 元会長、ジョナサン・マジェアビ直前会長そしてグレン・エステス会長も識字率向上のために世界 120 万のロータリアンに絶大なる支援を要請されました。今や識字率向上運動はポリオ・プラス計画の後を継ぐ、RI の重要なプログラムになっております。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するということは社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は正当な職に就けず、それに起因する貧困は、更にその子供たちの就学の機会を奪い、途上国において非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

世界には約 10 億の非識字者がいます。私たちには想像できない数字ではありますが、これは 15 歳以上の大人の 4 分の 1 に当たります。その 4 分の 3 はアジア人であるといわれ、また非識字者の 3 分の 2 は女性であります。

一方、世界で 1 億 3 千万の就学年齢児が学校に行けません。ユネスコや我々の努力にも拘わらず、この数があまり減少していません。途上国の子供が年々増え続けているので、学校に行けない子供が増加する恐れもあります。また、折角入学した子供も 3 分の 1 は小学校を卒業していません。このままでは南北間の貧富の差は益々広がり、地球規模の社会不安は一層増大するでしょう。ニューヨークでの同時多発テロの原因も、結局は貧富の差に根ざしていると言われます。これは我々に強い危機感を与えます。

先進国ではメディア・イリテカシー（メディア音痴）という言葉さえ聞かれます。「メディア音痴」とはインターネットを始めとする情報技術に乗り遅れることを意味し、これではメディアを使いこなす人に決定的な差をつけられることを覚悟しなければなりません。こうした情報化社会の時代に文字さえ知らないということは、何を意味するのでしょうか？このままでは世界人口の 5 分の 1 に過ぎない先進国の情報技術が益々進歩し、南北国家間の文明格差は増すばかりであります。このままでは、私たちは到底平穏な世界を次の世代に残すことはできないでしょう。

現在、世界の人口は 60 億に達しました。更に、年間約 1 億人即ち毎年メキシコの人口に匹敵する人口増加を続けています。このまま人口が増え続けてゆくなれば、この地球の将来は暗いでしょう。しかも、人口増加の 99%は途上国です。我々は、折角、予防接種で救った子

供たちを飢え死にさせてはなりません。また、彼らに生きがいを持たせる教育と職業を与えなければなりません。

人口増加抑制の最大のポイントは母親たちの教育です。途上国の少女が中等教育を受けるだけで出生率が低下し、先進国並みになることが知られています。従って、教育、特に女性教育こそ我々宇宙船地球号が生き延びてゆく上での最も効果的な手段である、と言えるでしょう。

これが、私たちの進めようとしている識字率向上運動の今日的意義であり、正に「情けは人の為ならず」であります。確かに、私たちは長引く不況の最中にいます。しかし、今直ぐに識字率向上運動を推進しなければ、手遅れになるでしょう。RIの識字委員会は各途上国の委員からの確実な情報に基づき、地区レベルあるいはクラブレベルでご協力いただく最も有意義な援助プロジェクトを決定し、いずれそのリストを提供させていただきます。諸般、厳しい状況下にありますが、何卒、識字プロジェクトの重要性をご理解賜り、RIの識字率向上運動にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

合掌

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま 77号 ★ 2006年7月12日発行

:: 今月のトピックス ::

1. 寄付金速報 ～9年ぶりの寄付金増加！ご協力感謝いたします～
2. 理事会・評議員会開催報告
3. 2006年度新制度を検証するフォーラムを開催
4. 全国の学友会長と地区米山奨学委員長が初の合同セミナー
5. 現地採用奨学金、ベトナムで一次面接を実施！

文庫通信 (227号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「出会い・友情・奉仕」

- ◎ 「第2世紀へのクラブ活性化の条件」 南園義一 2006 3p (D.2650 月信)
 - ◎ 「ロータリーにおけるサービスの理念と職業活動の意義について」
菅生浩三 2006 9p (D.2690 地区大会)
 - ◎ 「クラブ運営について」 高士雅次 他 2005 5p
(D.2660 地区大会パネルディスカッション)
 - ◎ 「奉仕の新世紀を迎えて」 塚原房樹 他 2006 12p
(D.2510 地区大会シンポジウム)
 - ◎ 「クラブの奉仕活動について」 岡本貴夫 2006 6p (D.2690 地区大会)
 - ◎ 「ロータリーの夢を叶えるロータリー財団」 片岡映子 2006 7p
 - ◎ 「還ろう 米山梅吉の原点に」 内藤成雄 他 2006 4p
(米山梅吉記念館館報 シンポジウム)
 - ◎ 「CLPって何だ？」 三木 靖 2006 3p (D.2730 月信)
 - ◎ 「四大奉仕を尊重したCLPに基づいたクラブ細則例」
田中 毅 2006 5p (D.2680 月信)
 - ◎ 「ロータリアンのマインド調査とその課題」 小船井修一 2006 5p
(D.2500 月信)
 - ◎ 「変わり行くロータリー」 佐藤邦夫 他 2006 12p
(D.2830IM シンポジウム)
 - ◎ 「霧多布のエゾ山桜 道下俊一」 2006 7p (D.2500 月信)
- [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

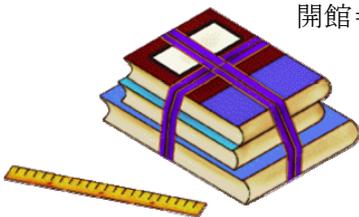
〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



8 月 会員増強および拡大月間

1日	(火)		
2日	(水)		
3日	(木)		
4日	(金)		
5日	(土)	クラブライラ委員長会議	和歌山 JAビル
6日	(日)	財団地域セミナー 2006～2007 年度長期受け入れ学生のホストファミリー並びにクラブカウンセラーに対するオリエンテーション	パシフィコ横浜 テクスピア大阪 ↓
7日	(月)		
8日	(火)		
9日	(水)		
10日	(木)		
11日	(金)	ガバナー事務所夏季休暇	
12日	(土)		
13日	(日)		
14日	(月)	ガバナー事務所夏季休暇	
15日	(火)	↓	
16日	(水)	↓	
17日	(木)	↓	
18日	(金)		
19日	(土)	クラブ雑誌・広報、IT 委員長会議 米山カウンセラー研修会・学友会総会・夏期研修会	和歌山 JAビル ルミエール華月殿
20日	(日)		
21日	(月)		
22日	(火)		
23日	(水)		
24日	(木)		
25日	(金)		
26日	(土)		
27日	(日)	2006～2007 年度長期受け入れ学生への第1回オリエンテーション・歓迎会 2005～2006 年度長期派遣学生帰国報告会 2006～2007 年度短期交換学生帰国報告会	きららホール
28日	(月)		
29日	(火)		
30日	(水)	第1回米山評議員会	新高輪プリンスホテル
31日	(木)		



国際ロータリー第2640地区
ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F
 T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0
 F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3
 E-mail info@rid2640g.org
 U R L http://www.rid2640g.org/sangen/
 勤務時間 9:00～17:00 (土・日・祝日は休み)
 S T A F F 代表幹事 永島 龍弘
 事務職員 山本千恵子 平田有紀子

ガバナー事務所 夏季休暇のお知らせ

8月11日(金)～17日(木)までお休みです。